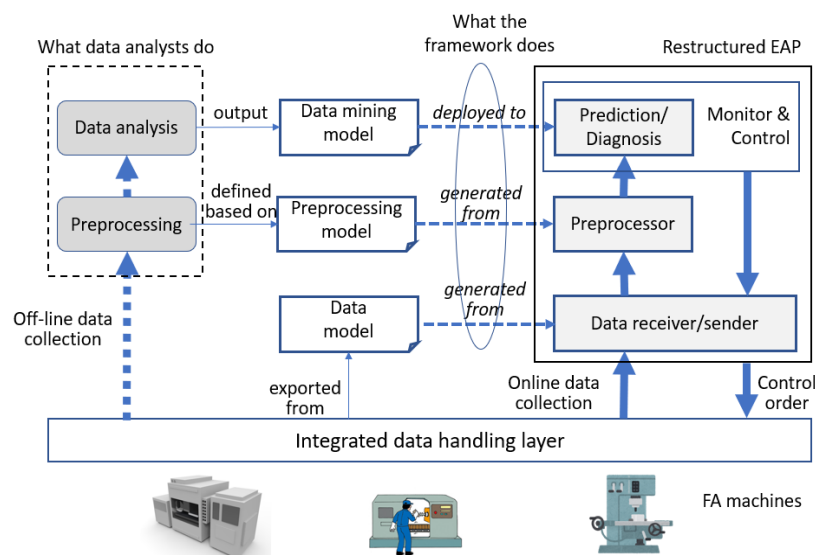


Edgexcrossを活用した論文が、IEEE(アイトリプルイー) Computer Societyのフラッグシップカンファレンスである『COMPSAC(コンプサック) 2020』で採択

[論文概要]

1. 推論モデルから半自動的にエッジアプリケーションを開発できるフレームワークを提案した。
2. 提案フレームワークは、エッジアプリケーションにおけるデータ取得、前処理、および推論方法の多様性の問題を、統合データ処理層の導入(**Edgecross**)、データマイニング言語(**PMML**)と推論エンジンの導入、および前処理記述言語の考案、の3つのアプローチを採ることによって解決するものである。
3. 実際の射出成形機の実データ分析結果に基づいて製品品質の判定を行うエッジアプリケーションを試作・評価を行うことで、フレームワークが提供すべき事項を明確化するとともに、本アプローチの有効性と実現性を確認した。

提案するエッジアプリケーションフレームワーク



試作エッジアプリケーションのシステム構造図

